

## 平成26年度 食と地域の交流促進対策交付金 事業実施主体 評価一覧

### 【観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム)】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価	コメント
				H24	H25	H26	H27			
沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	池間島暮らしツーリズム協議会	●	●	■	—	A	島のお年寄りの暮らしの知恵や漁協との協働により地域の食をテーマにした体験プログラムを実践し、地域協働による運営体制の整備がなされている。その結果、交流人口の増加や民泊・体験プログラム運営者数などの目標をほぼ達成しており、成果が十分に発現していると認められる。また、「(株)JAL・JTAセールスとの共同でプログラム開発をし、発売中で今後も成果が向上すると思われる。	
沖縄総合事務局	沖縄県	石垣市	石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会	●	●	■	—	A	民泊体験の受入体制構築、地域資源を活用した体験プログラム開発などに向けて、受入民家の人材育成のための講習会や相談会などを実施し、受入地域の連携体制が構築されており、ビジットプランの実施の効果も高い。その結果、交流人口の増加が目標値の8倍以上、それに伴う収益が目標値の9倍以上に達している点は特筆される。これらのことから、総合的に成果を十分上げていると認められる。	

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

### 【平成26年度食と地域の交流対策交付金の評価概要】

#### 1. 集落連携推進対策及び人材活用対策

今回の評価では、平成24年度に採択された2団体(観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム))の事業実施結果について評価を行った。

交流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められる評価「A」となった。本交付金により、課題解決及び取組基盤が強化されていると認められる。

## 【平成26年度食と地域の交流対策交付金評価委員会の議事概要】

### 【評価委員会】

1. 日 時 平成27年9月15日(火) 15時00分～17時00分

2. 場所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長

武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

内藤 重之(委員長) 琉球大学農学部教授

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 3名

### 4. 議事概要

1) 食と地域の交流促進対策交付金の評価について

・各実施団体の評価内容案について、委員からの意見聴取を行った。

2) 食と地域の交流促進対策交付金の評価結果案の取りまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、各実施団体の評価結果案について、公表用評価コメントを様式に取りまとめた。

### 5. 評価委員会委員の主な意見

No.1 池間島暮らしツーリズム協議会

・地域協働による運営体制の整備がなされており、総合的に成果を上げていると認められる。

No.2 石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会

・交流人口が大幅に増加しており、総合的に成果を上げていると認められる。

担当者:沖縄総合事務局農林水産部土地改良課